

静岡市清水区感染症発生動向

2014年 39週

集計期間 9/22-28

	-6M	6-12M	1Y	2Y	3Y	4Y	5Y	6Y	7Y	8Y	9Y	10-14Y	15-19Y	20Y-
RS感染症			3											3
咽頭結膜熱		1	2		1	1								5
溶連菌感染症					1	1							1	3
感染性胃腸炎		2	9	2	6	3	6	3	1	3	1	5		41
水痘			1	1				1	1					4
手足口病			1											1
伝染性紅斑									1			1		2
突発性発疹		4	2											6
百日咳														
ヘルパンギーナ				2	1									3
流行性耳下腺炎														
麻疹														
風疹														
マイコプラズマ														
髄膜炎														
MCLS														
小児科Flu														
小児科定点総数 68 増減 -6 前週比 91.9% 定点当たり 11.3														
病院:開業医 2:66 増減 0:-6														
内科Flu														
インフルエンザ総数 増減 0 前週比 ?% 定点当たり														
小児科:内科 0:0 増減 0:0														

総数68、前週の91.9%と、更に減少です。

首位は、感染性胃腸炎、前週比114%、定点当たり6.8と、やや増加です。

2位は、突発性発疹が、定点当たり1です。

以下は、全て、定点当たり1未満で少数ですが、

咽頭結膜熱が5名、水痘が4名、ヘルパンギーナ、溶連菌感染症、水痘3名ずつです。

人数は少ないですが、RSウイルス感染症3名、伝染性紅斑2名に注目です。

手足口病1名だけ報告がありました。

36週にヘルパンギーナが首位だったのが、不思議に感じる、すっかり秋の気配です。